|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大浜小　３，４年 | | | | 器械運動「跳び箱運動」単元指導計画（案） | | | | | | | 体育館 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | | | | いろいろな技の行い方が分かり、自分の力に合った基本的な技をすることができるようにする。 | | | | | | |
| 思考力、判断力、表現力等 | | | | 自分の課題を見つけ、解決のために自分に合った場を選ぶことができるようにする。  課題解決のために考えたことを友達に伝えることができるようにする。 | | | | | | |
| 学びに向かう力、人間性等 | | | | 進んで学習に取り組み、準備や片付けをすることができるようにする。  仲良く励まし合い他者の考えを認め、安全に気を付けることができるようにする。 | | | | | | |
|  | | 時間 | １ | | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ | |
| 学習の流れ | | ０  ５  ２０  ４５ | １．整列・あいさつ　　　２．準備運動　　　３．めあての確認 | | | | | | | | |
| 【めあて】  単元の目標と学習の流れを確認しよう。 | | 【めあて】切り返し  開脚とびにチャレンジしよう。 | 【めあて】切り返し  かかえこみとびにチャレンジしよう | 【めあて】回転  台上前転の技にチャレンジしてみよう | 【めあて】回転  難しい技（首はね系）にチャレンジしよう。 | 【めあて】切り返し・回転  自分に合った技（発展技）にチャレンジしよう | 【めあて】  自分にあった技（発展技）にチャレンジしよう。 | |
| **４ オリエンテーション**  ・学習の進め方  ・１時間の流れ  ・場づくり  ・約束  ・片付け  **５ 基礎感覚運動**  目的意識を持たせる  ・うさぎ跳び  ・またぎのり、とびおり  ・トントン腰上げ  ・またぎごし  ・フープインステップ  **６ 基本の技にチャレンジしてみよう**  場を確認しながら、いろいろな技にチャレンジする。  ・開脚跳び  ・かかえこみ跳び  ・台上前転 | | ★基礎感覚運動…☆フープインステップ、☆トントン腰あげ、☆とび乘り・とびおり、☆またぎ越し、☆壁うさぎ跳び、☆うさぎとび（足開きうさぎも）  うさぎ跳び、かえる倒立、手押し車、馬跳び、 | | | | | | |
| **４．活動①**  開脚とび系の技のポイントを整理し、自分に合った場や技にチャレンジする。  ①とびのり・とびおり  ②またぎごし  ③１段→３段で開脚跳び  ④舞台から開脚跳び  ⑤補助開脚跳び | **４．活動①**  　かかえこみ系の技のポイントを整理し、自分に合った場や技にチャレンジする。  ※かかえこみ跳びでは調節箱を２つ程度入れる  ①マット３枚うさぎとび  ②跳び箱１段でうさぎ跳び  ③１段→３段でかかえこみ跳び  ④跳び箱2台の間を跳ぶ | **４．活動①**  台上前転系の技のポイントを整理し、自分に合った場や技にチャレンジする。  ①マット3～5枚で前転  ②跳び箱の上で前転  ③１段→３段で台上前転  ④舞台から台上前転  ⑤補助台上前転 | **４．活動①**  　難しい技（首はね系）のポイントを整理し、自分に合った場や技にチャレンジする。  ※練習の場をつくる  ①伸膝台上前転  ②マット５枚で首はね跳び  ③２段→４段で首はね跳び  ④舞台から首はね跳び | **４．活動①**  　自分に合った技（発展技）を選び、課題解決の方法を考えることができるようにする。  ※練習の場をつくる | **４．活動①**  　自分に合った技（発展技）を選び、課題解決の方法を考えることができるようにする。  ※練習の場をつくる | |
| ５　きらりタイム・・・友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点等を全体で確認する。 | | | | | | |
| **６．活動②**  　自分に合った技（発展技）にチャレンジすることができる。  ・開脚伸身跳び  ①開脚跳び手たたき  ②玉に触れずに開脚跳び  ③調節箱２つ起き開脚跳び  ④②と③の合わせ | **６．活動②**  　自分に合った技（発展技）にチャレンジすることができる。  ・屈伸跳び  ※かかえこみとびと同様な場を，膝を伸ばして行う。 | **６．活動②**  自分に合った技（発展技）にチャレンジすることができる。  ・伸膝台上前転  ※台上前転と同様な場で、膝を伸ばして行う。 | **６．活動②**  　自分に合った技（発展技）にチャレンジすることができる。  ・頭はね跳び  ※首はねとびと同様の場で行う。 | **６．活動②**  　自分に合った技（発展技）を選び、課題解決の方法を考えることができるようにする。 | **６．活動②**  　自分に合った技（発展技）を選び、課題解決の方法を考えることができるようにする。  ※子ども達の伸びやがんばりを価値づけるようにする。 | |
| ☆７．ふり返り（できるようになったこと、むずかしかったこと、楽しかったこと、友だちの良い所、次がんばりたいこと等。必要に応じて**実技と結びつけて発表させる**） | | | | | | | | |
| 評価規準 | | 知・技 |  | | ○ |  | 〇 | ○ |  | ○ | |
| 思判表 |  | |  | ○ |  | ○ | 〇 |  | |
| 主体的 | ○ | |  |  | ○ |  | ○ |  | |

　R4.10作成：体育科指導ＣＯ金城

